

平成 28 年 9 月 30 日

各 位

会社名 株式会社ネクステージ  
 代表者名 代表取締役社長 広田 靖治  
 (コード番号：3186 東証・名証第一部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 安藤 弘志  
 (TEL. 052-228-6914)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 1 月 8 日に公表した平成 28 年 11 月期 (平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 11 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 77,000	百万円 1,654	百万円 1,500	百万円 862	円 銭 85.33
今回修正予想 (B)	86,000	2,100	2,050	1,200	120.14
増減額 (B - A)	9,000	446	550	337	
増減率 (%)	11.7	27.0	36.7	39.1	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 11 月期)	63,113	1,269	1,340	841	83.90

#### 2. 平成 28 年 11 月期通期個別業績予想の修正 (平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 77,000	百万円 1,439	百万円 827	円 銭 81.82
今回修正予想 (B)	86,000	2,040	1,190	119.14
増減額 (B - A)	9,000	601	363	
増減率 (%)	11.7	41.8	43.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 11 月期)	63,113	1,289	806	80.41

### 3. 修正の理由

(通期の業績予想の修正理由)

当社の基幹事業である中古車販売店事業において、当社を取り巻く市場環境はやや例年を下回り依然厳しい状況が続いております。その厳しい環境を踏まえ、以前から課題として掲げてきました、在庫回転率の改善やローコストオペレーション、一人当たりの生産性向上について当期も引き続き取り組んでおり、まだ改善途中ではあるものの成果が見えつつある状況となってきております。また、安定的な仕入と収益を確保するため、中古車買取事業においても拡大傾向にあり、既存店に買取拠点を併設することで出店コストを抑え、効率的な出店が実現できております。販売面におきましては、既存店4店舗をSUV LANDへ業態変更し、販売台数も好調に推移しております。また、総合店の事業展開において課題であった整備収益については、整備人員の強化及び整備顧客の獲得が順調に推移しており、整備事業の体制が整いつつあり、今後も一層のサービス品質の向上、顧客満足度の向上を目指して参りたいと考えております。

売上高におきましては、連結では86,000百万円(前回予想対比:111.7%)、個別では86,000百万円(前回予想対比:111.7%)となる見込みです。売上高の増加理由としましては、販売単価の上昇と販売台数の増加により前回予想から、連結では9,000百万円増加、個別では9,000百万円増加する見込みであります。営業利益におきましては、ローコストオペレーションの取り組みも継続して行っており、連結では2,100百万円(前回予想対比:127.0%)前回予想から446百万円増加する見込みであります。経常利益では、営業利益の増加の影響を受け、連結では2,050百万円(前回予想対比:136.7%)、個別では2,040百万円(前回予想対比:141.8%)となる見込みで、前回予想から連結では550百万円増加、個別では601百万円増加する見込みであります。当期純利益におきましては、経常利益が予想を上回った影響と、特定同族会社の留保金課税が外れたことにより実効法人税率が下がり、連結では1,200百万円(前回予想対比:139.1%)、個別では1,190百万円(前回予想対比:143.9%)となる見込みで、前回予想から連結では337百万円増加、個別では363百万円増加する見込みとなりました。

(注) 上記の実績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき算出しております。実際の業績は、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上